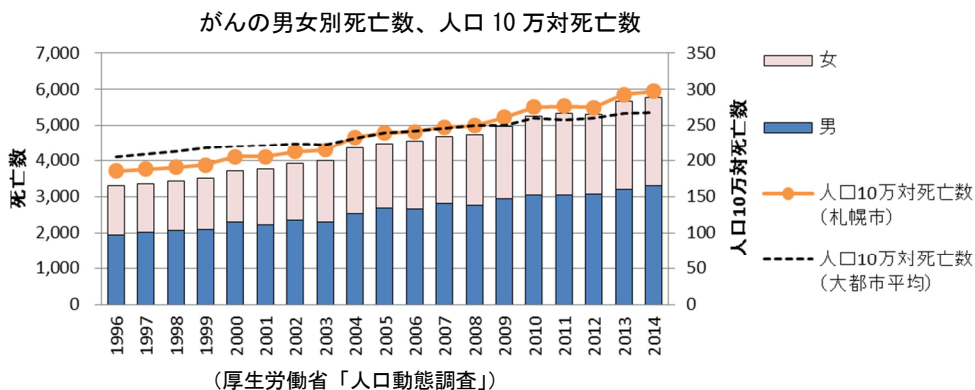


# 5 疾病に係る医療提供体制の構築

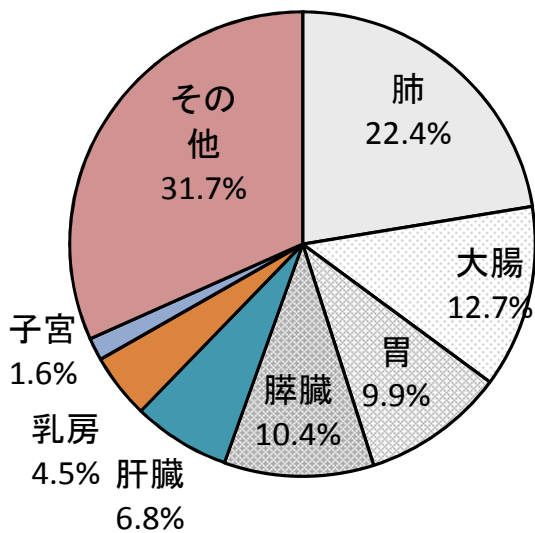
## 1 がん

### 【現状】

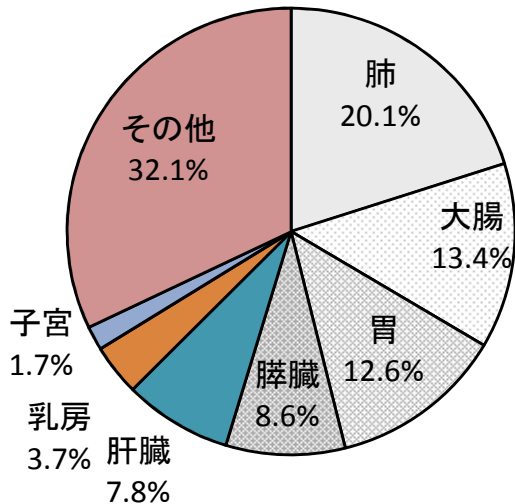
- 札幌市におけるがんの死亡数は増加し続けており、平成26年（2014年）には5,769人で、死因の第1位となっている。
- 人口10万人当たりのがんの死亡数は、平成26年（2014年）の大都市平均では267.8人、札幌市では297.6人となっている。



- 札幌市のがんによる死亡の部位別死亡割合では、肺がんが最も多く、次いで大腸、胃がんとなっている。



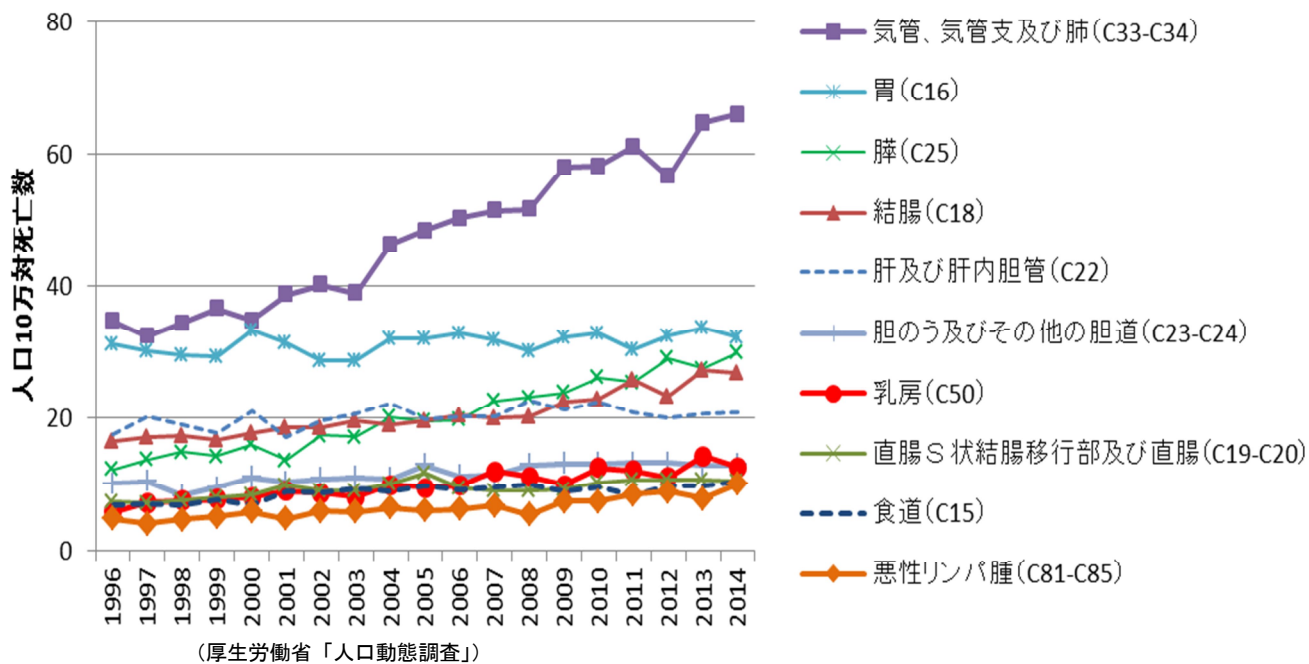
札幌市



全国

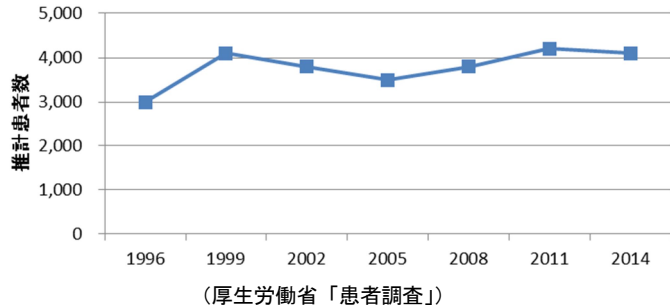
- 札幌市の種類別人口10万人当たりの死亡数は、特に肺がん及び膵臓がんが増加している。

がんの種類別人口10万対死亡数



○札幌二次医療圏内の病院におけるがんの推計入院患者数はほぼ横ばいであり、平成 26 年（2014 年）には 4,100 人となっている。

札幌医療圏内の病院におけるがんの推計入院患者数



○がんに罹患する割合は、高齢になるほど高くなると言われており、今後、札幌市では急速な少子高齢化の進展に伴い、がんの罹患患者数及び死亡者数の増加が予測されている。

○札幌市では、がんによる死亡者の減少、がん患者等が抱える苦痛の軽減を目的とした総合的ながん対策を推進するため、平成 29 年 3 月に「札幌市がん対策推進プラン」を策定した。

## ■札幌市がん対策推進プラン

### 第1章 計画の概要

#### ○計画の位置づけ

- ・札幌市のまちづくりの基本指針である「札幌市まちづくり戦略ビジョン」の個別計画である、「健康さっぽろ21（第二次）」のがん対策における実施計画として位置づける

#### ○計画期間

- ・平成29年度から平成35年度までの7年間

### 第2章 がんを取り巻く現状

#### ○札幌市のがんによる死亡の特徴

- ・全国と比較してがんによる死亡率が高い
- ・全国のがん死亡率が男女とも低下傾向にある中で、札幌市の女性のがん死亡率が低下していない
- ・全国と比較して札幌市民の肺がんによる死亡率が高い

#### ○考慮すべき視点

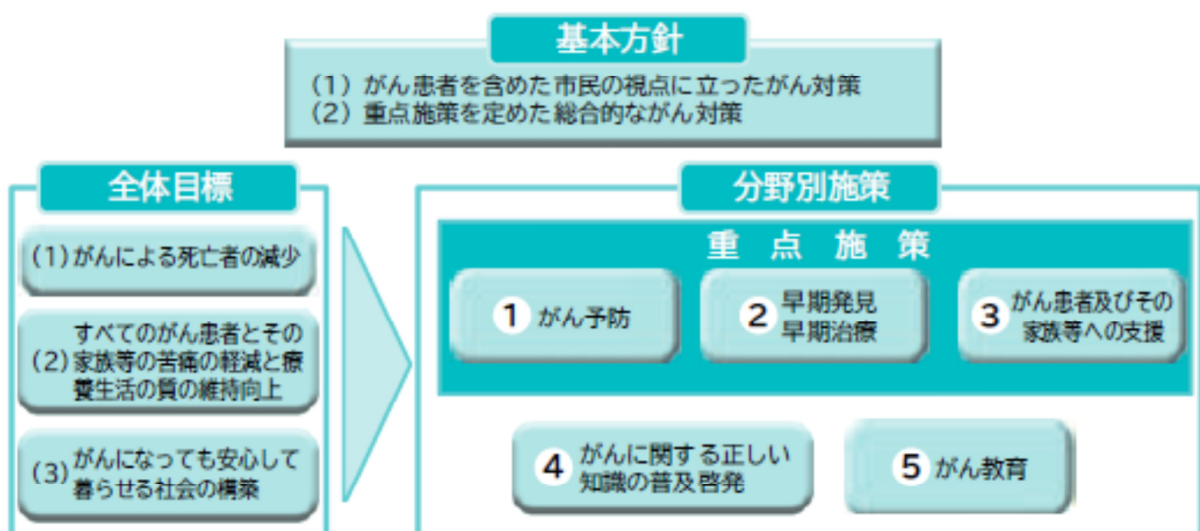
- ・部位別のがん患者数は胃がんと大腸がんが最も多く、次いで乳がんが多いと想定される

#### ○がん対策として必要なこと

- ・がんの予防と早期発見・早期治療
- ・がん患者及びその家族等への支援

### 第3章 計画の体系

計画の体系図



#### ○基本方針

- (1)がん患者を含めた市民の視点に立ったがん対策
- (2)重点施策を定めた総合的ながん対策

○全体目標

- (1)がんによる死亡者の減少
- (2)すべてのがん患者とその家族等の苦痛の軽減と療養生活の質の維持向上
- (3)がんになっても安心して暮せる社会の構築

○分野別施策

- ・がん予防
- ・早期発見・早期治療
- ・がん患者及びその家族等への支援
- ・がんに関する正しい知識の普及啓発
- ・がん教育

第4章 分野別施策

○がん予防

(1)感染に起因するがんへの対策

■現状と課題

- ・がんの約2割がウイルスや細菌の感染に起因している
- ・感染に起因するがんの中で胃がんへの対策が進んでいない

■施策の方向性

- ・がんの要因となる感染の検査、治療、感染予防に向けた支援
- ・胃がんの要因となるヘリコバクター・ピロリ除菌の推進

■主な取組

がんの種類（感染）	種別	取組	取組内容
胃がん （ヘリコバクター・ピロリ）	新規	胃がんリスク検査導入とヘリコバクター・ピロリ除菌の推進	札幌市実施の健（検）診対象者に胃がんリスク検査を実施し、保険適用によるピロリ除菌を推進
肝細胞がん （肝炎ウイルス）	継続	B型肝炎ワクチン・肝炎ウイルス検査 肝炎ウイルス陽性者フォローアップ事業	検査・治療・感染予防に向けた支援
子宮頸がん（HPV）		HPVワクチン定期接種	定期接種（積極勧奨は控えている）
白血病・リンパ腫 （HTLV-1）		HTLV-1抗体検査	妊婦健診の検査項目

(2)たばこ対策

■現状と課題

- ・政令指定都市中最も喫煙率が高い

- ・受動喫煙は肺がんのリスクを約 1.3 倍に高める

■施策の方向性

- ・保険診療による禁煙外来受診促進
- ・未成年者を含めた喫煙及び受動喫煙の害に関する正しい知識の普及啓発
- ・受動喫煙のない家庭や職場の実現に向けた働きかけ

■主な取組

種別	取組	取組内容
新規	子育て世帯の禁煙外来受診促進	禁煙外来の普及啓発のため、特に子育て世帯を対象として禁煙外来の受診を促進
	医師による問診時の禁煙アドバイス	がん検診問診時に医師による禁煙アドバイスを実施
	がん教育推進支援	教員向け研修・がん経験者と連携したがん教育の推進支援
	事業所等に向けた全面禁煙の推奨	がん予防の観点から事業所等に向け全面禁煙を推奨
レベルアップ	母子保健事業における啓発の実施	既存の喫煙の害の普及啓発に禁煙外来受診推奨を追加
継続	受動喫煙防止対策を実施する施設の登録	禁煙・完全分煙施設登録

■指標

指標	現状値	目標値	
成人の喫煙率【健】	20.5%（平成 24 年）	10%	
未成年者の喫煙率【健】	1.7%（平成 24 年）	0%	
受動喫煙の機会を有する人の割合【健】	行政機関	—	0%
	医療機関	—	0%
	職場	—	受動喫煙のない職場の実現
	家庭	—	3%
	飲食店	—	15%

【健】：「健康さっぽろ 21（第二次）」の指標

(3)生活習慣の改善

■現状と課題

- ・習慣的な多量の飲酒と塩分の摂り過ぎは、がんの要因の一つとなっている

■施策の方向性

- ・適切な飲酒量と塩分量についての普及啓発

■主な取組

種別	取組	取組内容
レベルアップ	健康教育	習慣的な多量の飲酒とがん予防について専門職が健康教育を実施
	食生活改善推進員の活動	食のボランティアである食生活改善推進員が減塩等について普及啓発
継続	食生活指針の普及啓発	「札幌市食生活指針」の普及啓発

■指標

項目	指標	現状値	目標値
飲酒	成人の多量飲酒者の割合【健】	男性 4.1% 女性 1.2% (平成 24 年)	男性 3.4% 女性 1.0%
食生活	野菜の 1 日あたり平均摂取量【健】	293 g (平成 23 年)	350 g
	果物の 1 日あたり平均摂取量【健】	53.1% (平成 23 年)	30%
	食塩の 1 日あたり平均摂取量【健】	9.5 g (平成 23 年)	8 g
運動	運動習慣のある人（1 回 30 分以上の運動を週に 2 回、1 年以上継続）の割合【健】	男性 28.1% 女性 28.4% (平成 24 年)	男性 38% 女性 38%
適正体重	20～60 歳代男性の肥満者の割合【健】	25.3% (平成 24 年)	23%
	40～60 歳代女性の肥満者の割合【健】	16.3% (平成 24 年)	14%
	20 歳代女性のやせの人の割合【健】	20.2% (平成 24 年)	15%

【健】：「健康さっぽろ 21（第二次）」の指標

○早期発見・早期治療

(1)早期発見の推進

■現状と課題

- ・職域や個人のがん検診受診の実態が把握できていない
- ・胃、大腸、肺がん検診の受診率が低い
- ・3割の事業所ががん検診を未実施

■施策の方向性

- ・職域、個人でのがん検診受診の実態把握
- ・企業等と連携するなど、様々な媒体を利用した普及啓発
- ・がん検診を受診しやすい環境の整備に向けた支援

■主な取組

種別	取組	取組内容
新規	がん検診受診実態調査	正確な札幌市民のがん検診受診者数を調査・集計
	職域定期健診・がん検診同時実施促進	がん検診を未実施の事業所に対して、定期健診にがん検診を付加するよう働きかける
レベルアップ	札幌市がん対策普及啓発キャンペーン実行委員会	関係機関と連携し実行委員会方式で普及啓発を実施
継続	無料クーポン券事業	要件を満たす市民にがん検診無料クーポン券を送付

■指標

指標	現状値	目標値
がん検診受診率	— (札幌市がん検診受診実態調査にて算出した受診率を指標とする。)	胃・肺・大腸がん検診：40% 子宮・乳がん検診：50% なお、受診率の実態や国の動向を踏まえ必要な見直しを行う。

(2)効果的ながん検診の実施

■現状と課題

- ・精密検査受診率が低いため、がん検診の精度検証に支障
- ・職域におけるがん検診は、ガイドラインがない中で自主的に実施されている
- ・3割の事業所ががん検診を未実施

■施策の方向性

- ・検診実施医療機関との連携による精密検査結果の把握と適切な精度管理の実施
- ・事業所に対して国の策定するガイドラインに基づくがん検診の実施と精度管理の必要性を普及啓発

■主な取組

種別	取組	取組内容
新規	要精密検査受診率向上対策	精検未受診者の正確な把握、受診勧奨等の実施
	職域がん検診の効果的な実施の推奨	事業所に対して国の策定するガイドラインに基づくがん検診の実施及び制度管理の実施を推奨
レベルアップ	適切な精度管理の実施	精度管理のため検診実施機関にセミナー・講習会等を開催
継続	札幌市がん検診	国の指針に基づく胃・大腸・肺・子宮・乳がん検診を実施



■指標

指標	検診の種類	実績値(平成25年度)	目標値
精密検査受診率	胃がん検診	58.6%	100%
	肺がん検診	85.2%	
	大腸がん検診	45.2%	
	子宮がん検診	15.6%	
	乳がん検診	75.3%	

○がん患者及びその家族等への支援

(1)相談支援体制の充実

■現状と課題

- ・がん相談支援センターの認知、活用が不十分
- ・ピア・サポートを含めた相談支援体制の整備が必要

■施策の方向性

- ・がん相談支援センター等の普及啓発
- ・がん患者団体等と連携したがん相談支援体制の整備

■主な取組

種別	取組	取組内容
新規	ガイドブックの作成と活用	ガイドブックを作成し、各区、関係機関等に配架し周知
	がん患者団体等との連携による相談支援体制整備	市内のがん患者団体等と連携して、ピア・サポーター等を養成・活用し相談支援体制を整備

(2)働く世代のがん患者への支援

■現状と課題

- ・がん治療と職業生活を両立できる体制を整備している事業所が少ない
- ・がん患者が再就労できる環境が求められる

■施策の方向性

- ・がん治療と職業生活を両立できる体制を整備する事業所の増加に向けた支援
- ・がん患者の再就労に向けた支援

■主な取組

種別	取組	取組内容
新規	事業所等との連携による総合的ながん対策の推進	がん検診の実施、がんの治療と職業生活が両立できる体制の整備やがん患者を積極的に雇用する企業等を認定する制度を導入



■指標

指標	現状値	目標値
仕事とがん治療の両立ができる職場づくりに取り組む事業所の割合	5.7%	14%

(3)多様なニーズに対応したがん医療体制等の推進

■現状と課題

- ・患者等の視点に立ったがん医療体制、緩和ケアや在宅医療の実施体制の継続
- ・在宅医療患者数の増加への対応
- ・小児がんは高額な治療の長期にわたる継続が必要

■施策の方向性

- ・がん診療連携拠点病院を中心とした医療機関相互連携を引き続き推進
- ・がん患者が住み慣れた場所での療養を選択できる環境整備の支援
- ・小児がん患者の治療に係る医療費の支援

■主な取組

種別	取組	取組内容
継続	市立札幌病院によるがん医療の実施	がん診療連携拠点病院の一つとして国の計画に基づくがん医療を実施
	かかりつけ医の推進	診療所と病院の連携強化、市民等への普及啓発の実施
	地域医療連携パス	連携パスノートの普及などにより、地域医療連携パスの導入を促進
	高齢者等の在宅医療ネットワーク推進事業	在宅医療を担う人材の育成や市民等への普及啓発の実施
	介護サービスの提供	介護保険制度に基づき、介護が必要な被保険者へ訪問介護・訪問看護等の介護サービスを提供
	医療機関と介護事業所の連携促進	医療機関と介護事業所の連携を促進
	小児慢性特定疾患医療費支給事業	小児がん患者への医療費の支援

○がんに関する正しい知識の普及啓発

■現状と課題

- ・多くの企業や関係団体等との連携・協力が必要

■施策の方向性

- ・企業や関係団体等を含めた幅広い対象に向け、様々な媒体を利用した普及啓発の実施

■主な取組

種別	取組	取組内容
レベルアップ	札幌市がん対策普及啓発キャンペーン実行委員会 (再掲)	関係機関と連携し実行委員会方式で普及啓発を実施

○がん教育

■現状と課題

- ・担当教員のがんに関する正しい知識の習得が必要
- ・がん経験者からの講演等が実施できる体制が必要

■施策の方向性

- ・がんの専門家やがん経験者と連携したがん教育の推進支援

■主な取組

種別	取組	取組内容
新規	がん教育推進支援 (再掲)	教員向け研修・がん経験者と連携したがん教育の推進支援

第5章 計画の推進に向けて

○役割

(1)市民

- ・がん対策、特になん予防や早期発見・早期治療には、市民が主体的に取り組むことが必要

(2)地域

- ・がん対策においては、町内会等の地域で活動する住民組織と連携しながら、市民ががん対策に取り組むよう支援することが求められる

(3)関係機関

- ・保険医療福祉関係者、医療保険者、事業者・商工団体・業界団体、患者団体、教育関係者などは、がんに関する正しい知識の情報提供、他の関係者への支援や環境づくり等を通じ、がん対策に取り組むことが求められる

(4)行政

- ・他の関係者や国、北海道と連携し、本プランに基づく取組を実施していくほか、関係者から提供されたがんに関するデータの整理・分析を行い、より効果的ながん対策の推進に努める

## 【医療提供体制】

### (1) がん診療連携拠点病院

○専門的ながん医療の提供、地域のがん診療の連携協力体制の整備、患者やその家族への相談支援や情報提供などの役割を担う病院として、厚生労働大臣が指定する医療機関。

○札幌市内では、都道府県がん診療連携拠点病院として1か所、地域がん診療連携拠点病院として7か所が指定されている。

体制	医療機関名	所在地
都道府県がん診療連携拠点病院	独立行政法人国立病院機構北海道がんセンター	白石区
地域がん診療連携拠点病院	札幌医科大学附属病院	中央区
	市立札幌病院	
	JA 北海道厚生連札幌厚生病院	
	北海道大学病院	北区
	社会医療法人恵佑会札幌病院	白石区
	KKR 札幌医療センター	豊平区
	医療法人溪仁会手稲溪仁会病院	手稲区

### (2) 北海道がん診療連携指定病院

○がん医療及び地域連携体制の確保並びに在宅医療及び患者支援体制の充実を図るため、がん診療連携拠点病院に準じる病院として北海道知事が指定する医療機関。

○札幌市内では、12か所が指定されている。（平成29年4月1日現在）

体制	医療機関名	所在地
北海道がん診療連携指定病院	国家公務員共済組合連合会 斗南病院	中央区
	NTT 東日本札幌病院	中央区
	J R 札幌病院	中央区
	勤医協中央病院	東区
	北海道消化器科病院	東区
	札幌東徳洲会病院	東区
	札幌北楡病院	白石区
	札幌徳洲会病院	厚別区
	独立行政法人 地域医療機能推進機構北海道病院	豊平区
	札幌清田病院	清田区
	札幌共立五輪橋病院	南区
	国立病院機構 北海道医療センター	西区

(北海道保健福祉部)

### (3) 北海道高度がん診療中核病院

○北海道における高度先進医療の提供や高度な医療技術の開発及び評価等を担う病院として、がん診療連携拠点病院の指定を受けた大学病院について北海道知事が認定する

医療機関。

○札幌市内では、2か所が認定されている。

体制	医療機関名	所在地
北海道高度がん診療中核病院	札幌医科大学附属病院	中央区
	北海道大学病院	北区

(4) 小児がん拠点病院

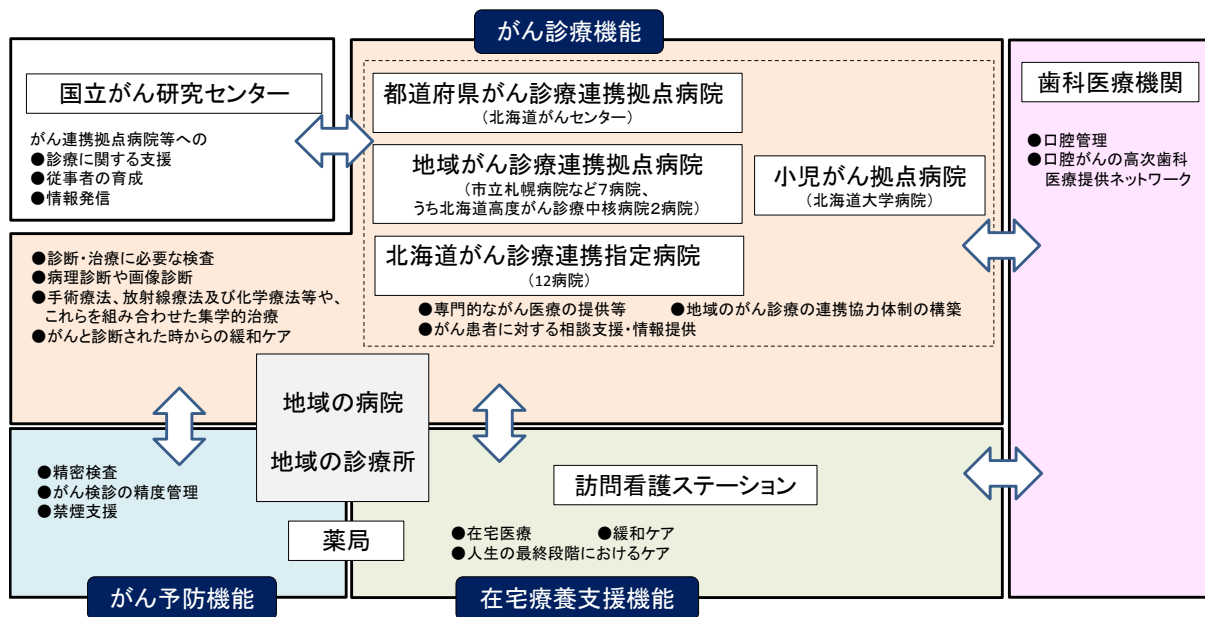
○地域における小児がん医療及び支援を提供する中心施設として、厚生労働大臣が指定する医療機関。

○全人的な小児がん医療及び支援の提供、小児がん診療に携わる地域の医療機関との連携及び診療機能の支援を行う。

○北海道内では北海道大学病院が指定されている。

体制	医療機関名	所在地
小児がん拠点病院	北海道大学病院	北区

がんの医療連携体制



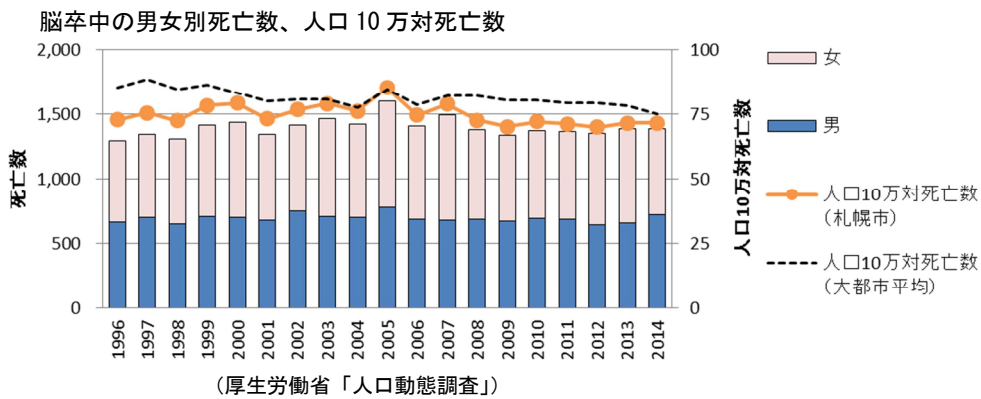
【今後の施策】

○「札幌市がん対策推進プラン」の推進

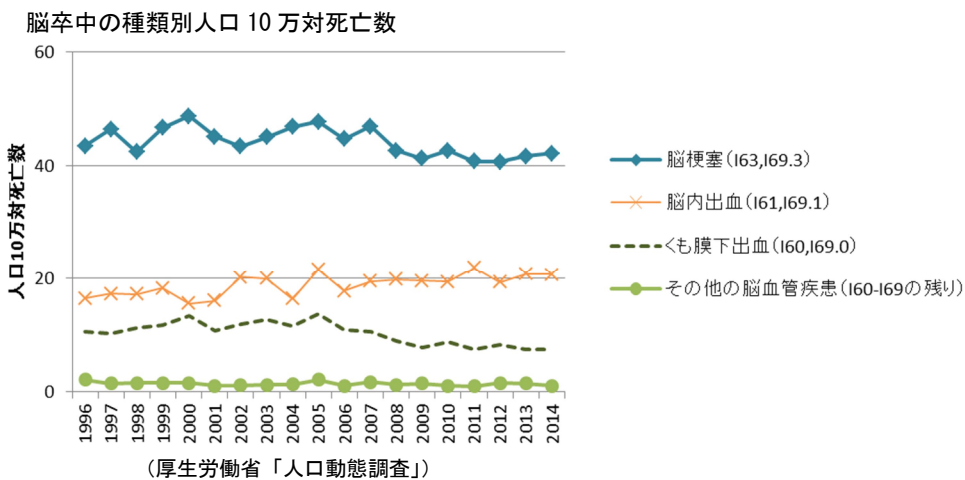
## 2 脳卒中

### 【現状】

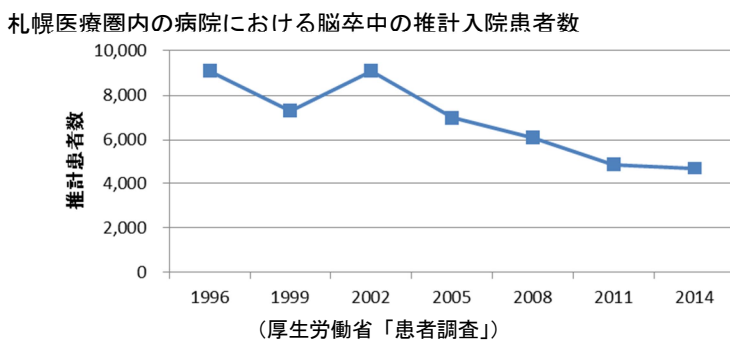
- 札幌市における脳卒中（脳血管疾患）の死亡数はほぼ横ばいであり、平成 26 年（2014 年）には 1,389 人で、死因の第 4 位となっている。
- 人口 10 万人当たりの脳卒中の死亡数は、平成 26 年（2014 年）の大都市平均では 75.1 人、札幌市では 71.5 人となっている。



- 札幌市における脳卒中の種類別では、「脳梗塞」の死亡率が高い状況にある。
- また、「くも膜下出血」が減少傾向であるのに対し、「脳内出血」は増加傾向にある。



- 札幌二次医療圏内の病院における脳卒中の推計入院患者数は減少傾向にあり、平成 26 年（2014 年）には 4,700 人となっている。



○脳卒中の発症予防には高血圧、糖尿病、脂質異常症等の危険因子を早期に発見することが重要だが、生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的として実施している札幌市国民健康保険特定健康診査における平成26年度(2014年度)の受診者数は57,536人、実施率は19.7%となっており、全国平均(48.6%)を大きく下回っている。

【医療提供体制】

(1) 急性期医療を担う医療機関

○札幌市内における、放射線等検査、臨床検査、治療(開頭手術、脳血管手術等)のすべてが24時間いつでも対応可能(輪番制を含む)である急性期医療を担う公表医療機関は15か所となっている。

医療機関名	所在地
市立札幌病院	中央区
社会医療法人 医仁会 中村記念病院	
札幌医科大学附属病院	
北海道大学病院	北区
医療法人社団 北匠改 札幌北脳神経外科	
医療法人 徳洲会 札幌東徳洲会病院	東区
医療法人 札幌麻生脳神経外科病院	
コスモ脳神経外科	
医療法人 新さっぽろ脳神経外科病院	厚別区
医療法人 柏葉脳神経外科病院	豊平区
国家公務員共済組合連合会 斗南病院	
医療法人 一仁会 南札幌脳神経外科	南区
医療法人 明日佳 札幌宮の沢脳神経外科病院	西区
医療法人 研仁会 北海道脳神経外科記念病院	
医療法人 溪仁会 手稲溪仁会病院	手稲区
医療法人 秀友会 札幌秀友会病院	

(北海道医療計画)

(2) 回復期医療を担う医療機関

○札幌市内における、脳卒中の回復期リハビリテーションが対応可能であり、脳血管疾患等リハビリテーション料の保険診療に係る届出医療機関は38か所となっている。

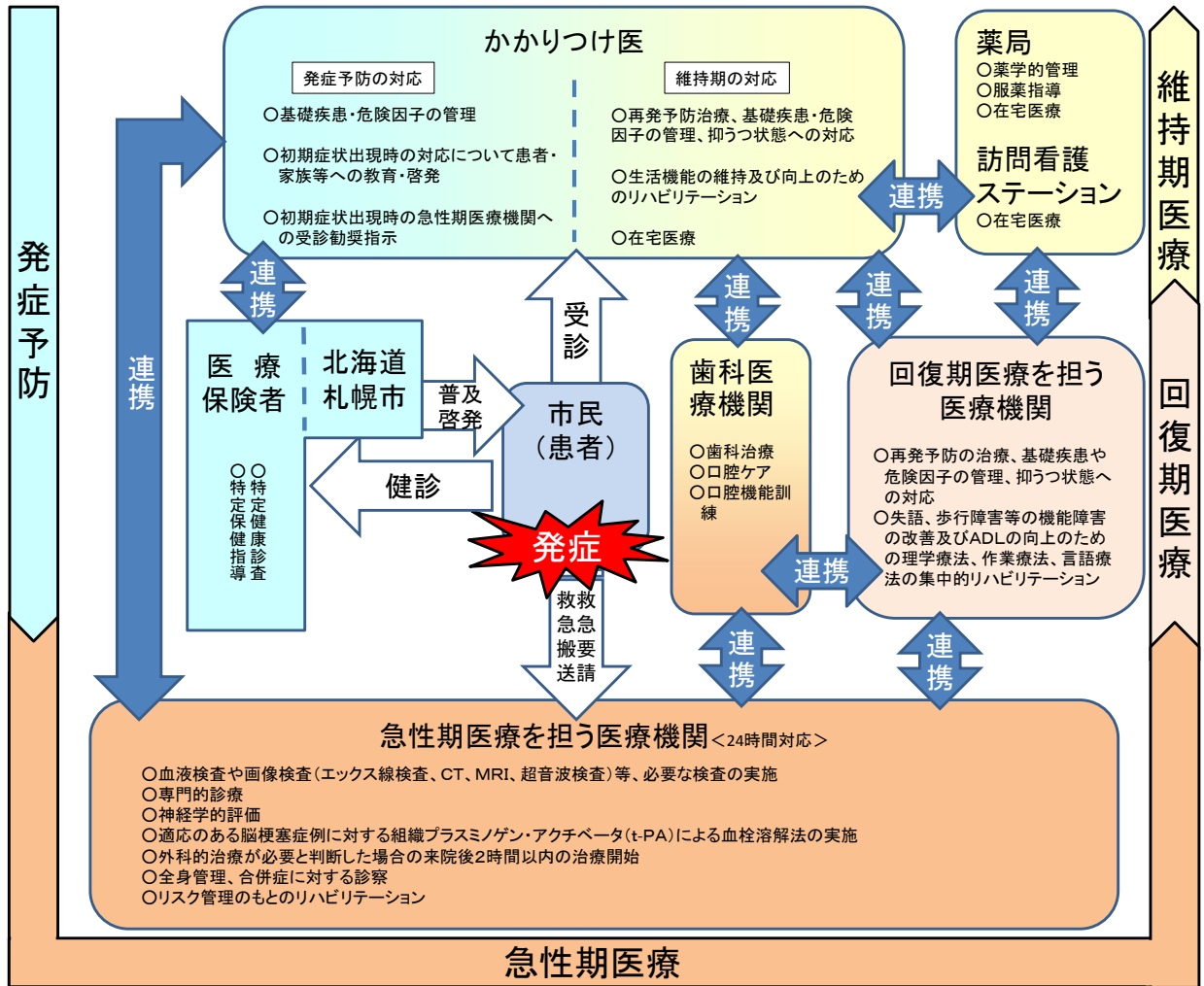
医療機関名	所在地
社会医療法人 医仁会 中村記念病院	中央区
医療法人 讃生会 宮の森記念病院	
医療法人 溪仁会 札幌西円山病院	
医療法人社団 明日佳 札幌明日佳病院	北区
北海道大学病院	
社会医療法人社団 三草会 クラーク病院	東区
勤医協中央病院	

医療機関名	所在地
医療法人社団 豊生会 東苗穂病院	
医療法人 札幌麻生脳神経外科病院	
医療法人社団 英仁会 札幌病院	
勤医協札幌病院	白石区
医療法人社団 これの杜クリニック	厚別区
医療法人 中山会 新札幌パウロ病院	
医療法人 新さっぽろ脳神経外科病院	
医療法人 潤和会 札幌ひばりが丘病院	
医療法人 記念塔病院	
医療法人 重仁会 大谷地病院	豊平区
社会医療法人 康和会 札幌しらかば台病院	
医療法人社団 北樹会病院	
医療法人 柏葉脳神経外科病院	
社会医療法人 恵和会 西岡病院	清田区
医療法人 札幌平岡病院	
医療法人 尚仁会 真栄病院	南区
医療法人 愛全病院	
社会医療法人 医仁会 中村記念南病院	
定山溪病院	
医療法人 一仁会 南札幌脳神経外科	
医療法人 札幌第一病院	西区
医療法人 明日佳 札幌宮の沢脳神経外科病院	
医療法人社団 静和会 静和記念病院	
医療法人社団 研仁会 北海道脳神外科記念病院	
医療法人 秀友会 札幌秀友会病院	手稲区
医療法人社団 明生会 イムス札幌内科リハビリテーション病院	
医療法人 札幌宮の沢病院	
医療法人 札幌緑誠病院	
医療法人社団 手稲脳神経外科クリニック	

(北海道医療計画)



# 脳卒中の医療連携体制



## 【課題】

- ① 疾病予防・早期発見等を促進するための普及啓発が必要
- ② 急性期から回復期、維持期まで切れ目のない医療を提供するため、医療機能の分化及び医療連携体制の充実が必要

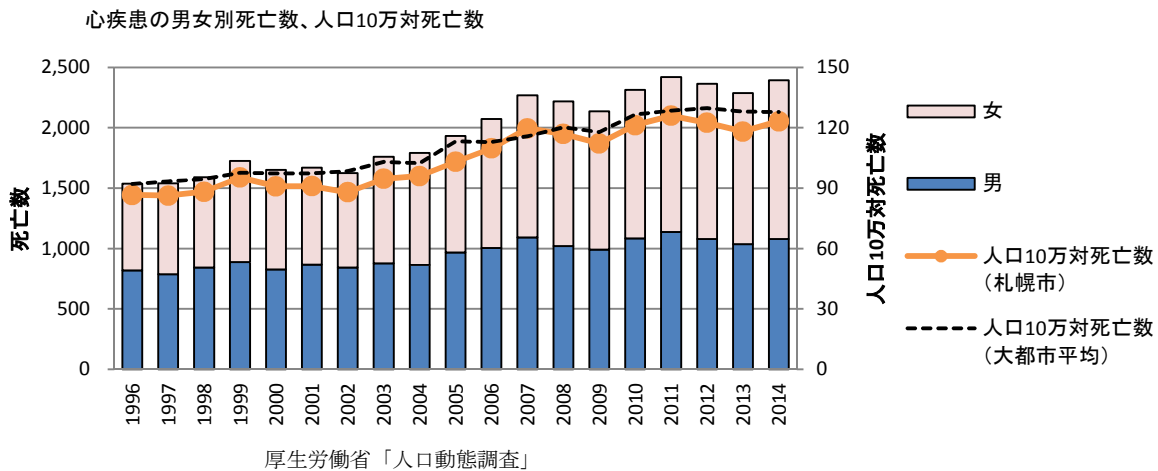
## 【今後の施策】

対応課題	今後の施策	備考
①	医療・保健に関する情報発信と普及啓発の強化	
	保健事業の推進、特定健康診査・特定保健指導の充実	
②	かかりつけ医などの普及促進と地域医療機関の連携の強化	
	地域包括ケアにおける医療の充実と医療・介護の連携促進	

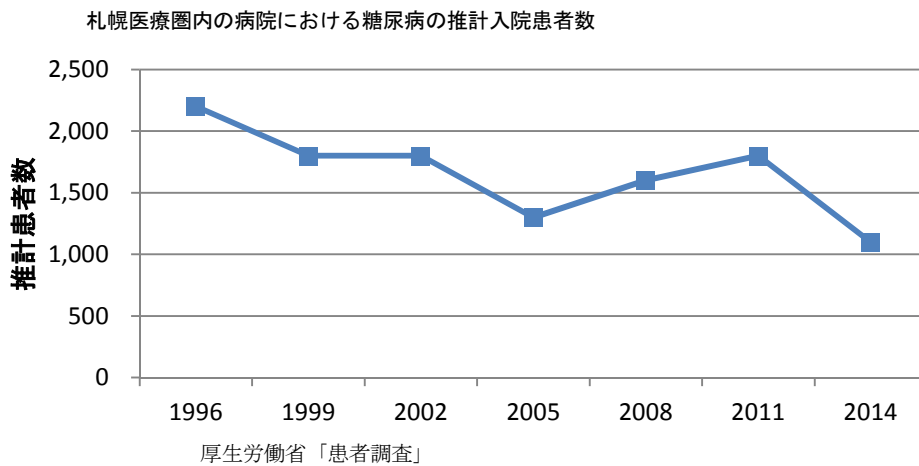
### 3 心筋梗塞等の心血管疾患

#### 【現状】

- 札幌市における心疾患（高血圧性を除く）による死亡数は増加傾向にあり、平成26年（2014年）における死亡数は2,393人と死亡数全体の13.5%を占め、死因の第2位となっている。
- 人口10万人当たりの心疾患（高血圧性を除く）の死亡数は、平成26年（2014年）の大都市平均では127.9人、札幌市では123.2人となっている。



- 札幌二次医療圏内の病院における心疾患（高血圧性を除く）の推計入院患者数は減少傾向にあり、平成26年（2014年）には1,100人となっている。



- 心筋梗塞等の心血管疾患の発症予防には高血圧、糖尿病、脂質異常症等の危険因子を早期に発見することが重要だが、生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的として実施している札幌市国民健康保険特定健康診査における平成26年度（2014年度）の受診者数は57,536人、実施率は19.7%となっており、全国平均（48.6%）を大きく下回っている。

【医療提供体制】

(1)急性期医療を担う病院

○札幌市内における、放射線等機器検査、臨床検査、経皮的冠動脈形成術のすべてが 24 時間いつでも対応可能である急性期医療を担う公表医療機関は 22 か所となっている。

医療機関名	所在地
社会医療法人 鳩仁会 札幌中央病院	中央区
市立札幌病院	
社会医療法人 北海道循環器病院	
J R 札幌病院	
J A 北海道厚生連 札幌厚生病院	
札幌医科大学附属病院	
医療法人社団 札幌循環器クリニック 札幌循環器病院	
北海道大学病院	北区
医療法人社団 延山会 北成病院	
医療法人 徳洲会 札幌東特殊会病院	東区
勤医協中央病院	
社会医療法人 母恋 天使病院	
医療法人社団 愛心館 愛心メモリアル病院	
社会医療法人社団 カレスサッポロ 北光記念病院	
医療法人札幌ハートセンター 札幌心臓血管クリニック	
J C H O 札幌北辰病院	
新札幌循環器病院	厚別区
K K R 札幌医療センター	
独立行政法人地域医療機能推進機構北海道病院	豊平区
医療法人 五月会 小笠原クリニック札幌病院	
社会医療法人考仁会 心臓血管センター北海道大野病院	南区
医療法人 溪仁会 手稲溪仁会病院	西区
	手稲区

(北海道医療計画)

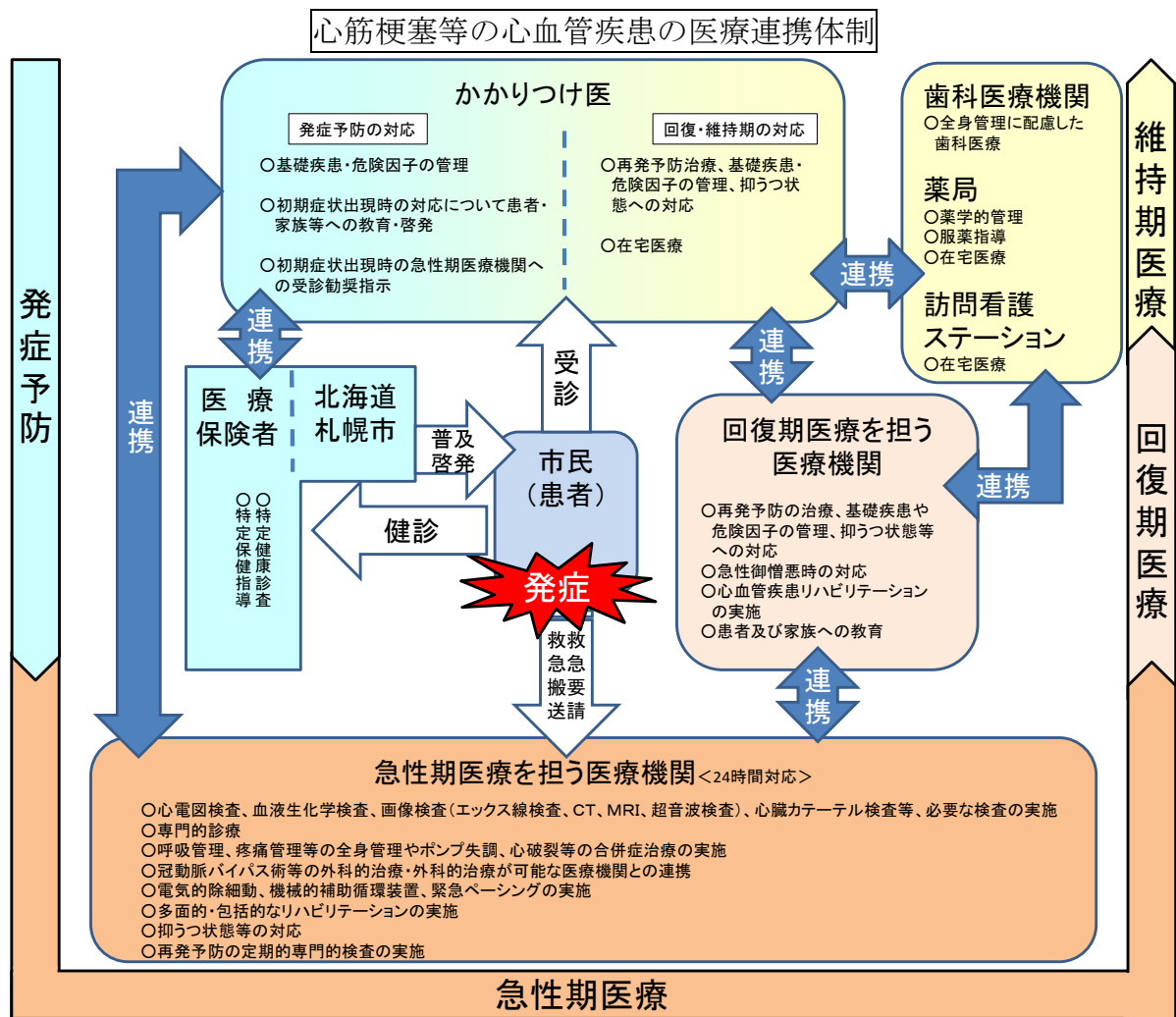
(2)回復期・維持期の医療について

○札幌市内の心大血管疾患リハビリテーションⅠ又はⅡの保険診療に係る届出医療機関（平成 29 年 5 月 1 日現在）は 31 か所となっている。

医療機関名	所在地
札幌中央病院	中央区
社会医療法人北海道恵愛会 札幌南一条病院	
N T T 東日本 札幌病院	
J R 札幌病院	
社会医療法人 北海道循環器病院	
市立札幌病院	

医療機関名	所在地
時計台記念病院	
札幌医科大学附属病院	
国家公務員共済組合連合会 斗南病院	
北海道大学病院	北区
医療法人 徳洲会 札幌東徳洲会病院	東区
北光記念病院	
社会医療法人社団愛心館 愛心メモリアル病院	
札幌心臓血管クリニック	
勤医協中央病院	
社会医療法人 禎心会 札幌禎心会病院	白石区
社会医療法人 医翔会 札幌白石記念病院	
独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター	
新札幌循環器病院	厚別区
KKR札幌医療センター	豊平区
北海道医療生協 札幌緑愛病院	清田区
医療法人社団 エス・エス・ジェイ 札幌整形循環器病院	
医療法人 愛全病院	南区
医療法人 札幌山の上病院	西区
琴似ハート内科・透析クリニック	
社会医療法人孝仁会 北海道大野記念病院	
独立行政法人国立病院機構 北海道医療センター	
手稲溪仁会病院	手稲区
医療法人 秀友会 札幌秀友会病院	
社会医療法人延山会西成病院	
札幌心臓血管・内科・リハビリテーションクリニック	

(北海道厚生局)



**【課題】**

- ①疾病予防・早期発見等を促進するための普及啓発が必要
- ②急性期から回復期、維持期まで切れ目のない医療を提供するため、医療機能の分化及び医療連携体制の充実が必要

**【今後の施策】**

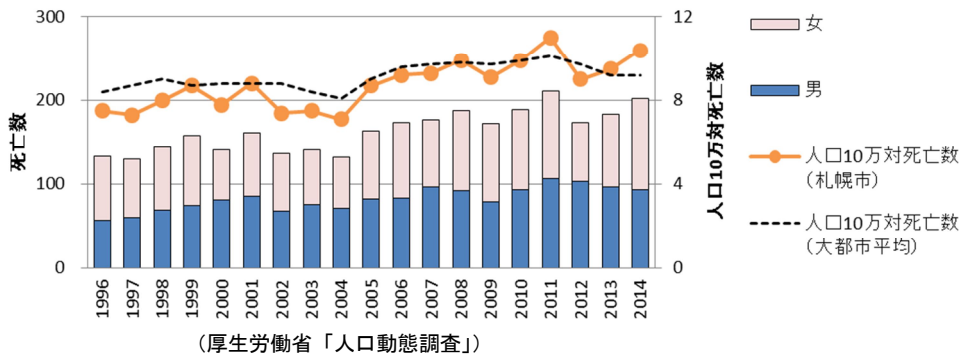
対応課題	今後の施策	備考
①	医療・保健に関する情報発信と普及啓発の強化	
	保健事業の推進、特定健康診査・特定保健指導の充実	
②	かかりつけ医などの普及促進と地域医療機関の連携の強化	
	地域包括ケアにおける医療の充実と医療・介護の連携促進	

## 4 糖尿病

### 【現状】

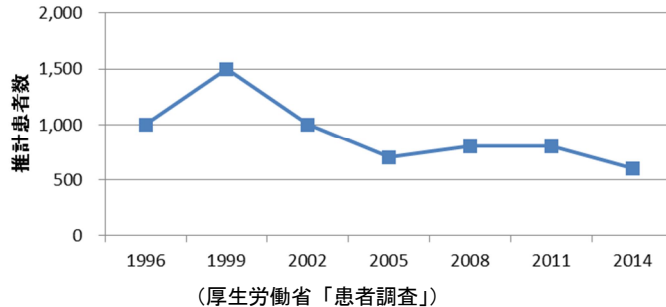
- 札幌市における糖尿病の死亡数は増加傾向にあり、平成 26 年（2014 年）には 202 人と死亡数全体の 1.1% を占め、死因の第 12 位となっている。
- 人口 10 万人当たりの糖尿病の死亡数は、平成 26 年（2014 年）の大都市平均では 9.2 人、札幌市では 10.4 人となっている。

糖尿病の男女別死亡数、人口 10 万対死亡数



- 札幌二次医療圏内の病院における糖尿病の推計入院患者数は減少傾向にあり、平成 26 年（2014 年）には 600 人となっている。

札幌医療圏内の病院における糖尿病の推計入院患者数



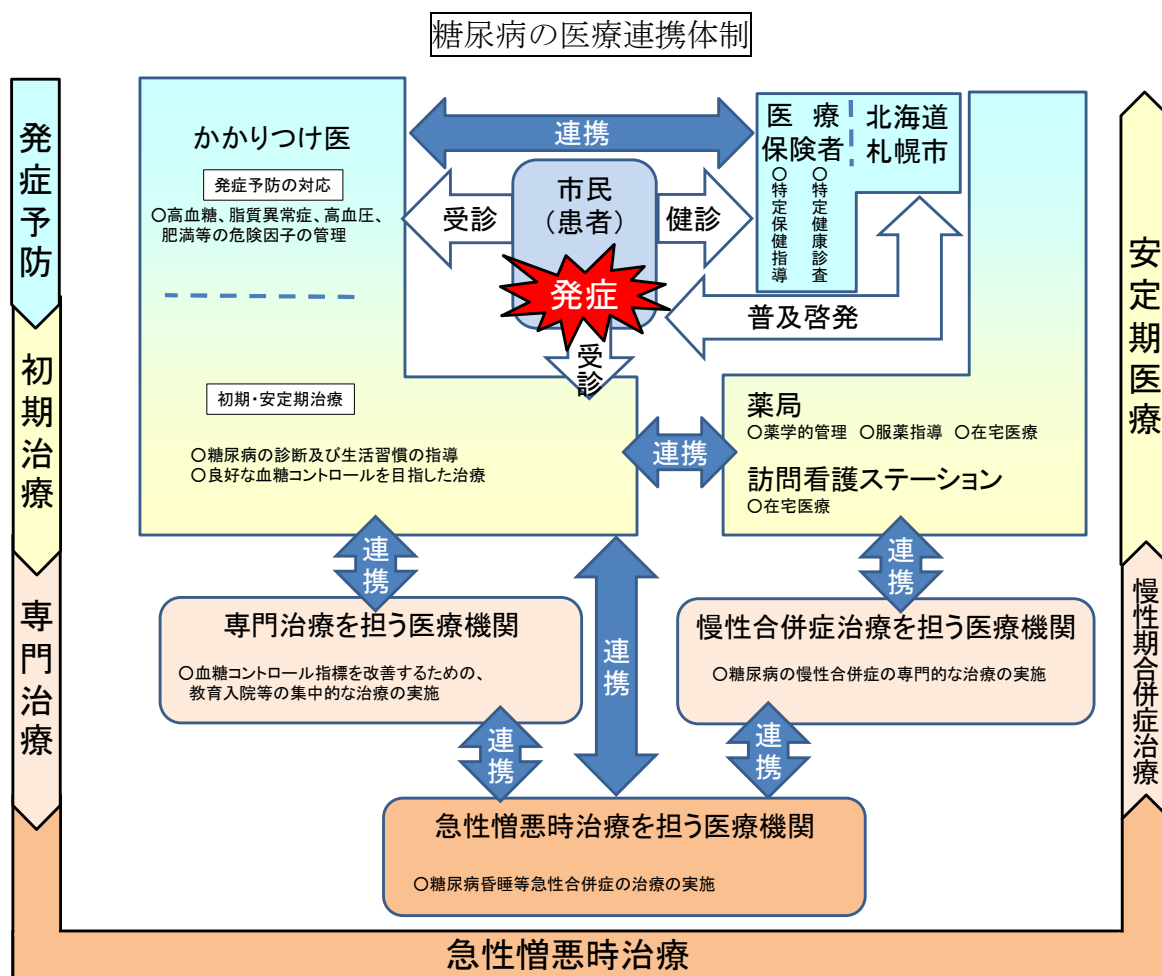
- 札幌市における糖尿病の通院者数は、平成 25 年（2013 年）国民生活基礎調査結果では 9 万人となっている。
- 糖尿病は放置すると糖尿病性腎症による人工透析が必要な状態、網膜症による失明、脳梗塞・脳出血、心筋梗塞など様々な合併症を引き起こす要因となることから、早期に発見、治療することが重要だが、生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的として実施している札幌市国民健康保険特定健康診査における平成26年度（2014年度）の受診者数は57,536人、実施率は19.7%となっており、全国平均（48.6%）を大きく下回っている。

### 【医療提供体制】

#### (1) 糖尿病医療機能を担う公表医療機関

- 札幌市内の、「インスリン療法を行うことができる」、「糖尿病患者教育（食事療法・運

動療法・自己血糖測定)を行うことができる」、「糖尿病による合併症に対する継続的な管理及び指導ができる」のいずれかに該当する公表医療機関は、平成29年4月1日現在230か所となっている。



**【課題】**

- ① 疾病予防・早期発見等を促進するための普及啓発が必要
- ② 急性期から回復期、維持期まで切れ目のない医療を提供するため、医療機能の分化及び医療連携体制の充実が必要

**【今後の施策】**

対応課題	今後の施策	備考
①	医療・保健に関する情報発信と普及啓発の強化	
	保健事業の推進、特定健康診査・特定保健指導の充実	
②	かかりつけ医などの普及促進と地域医療機関の連携の強化	
	地域包括ケアにおける医療の充実と医療・介護の連携促進	



## 5 精神疾患（認知症を含む）

### 【現状】

- 北海道の精神疾患の総患者数は、13万6千人と推計されている。
- 主な疾患別では、うつ病をはじめとした「気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）」や「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」、アルツハイマー病を含む「認知症」が多くなっている。

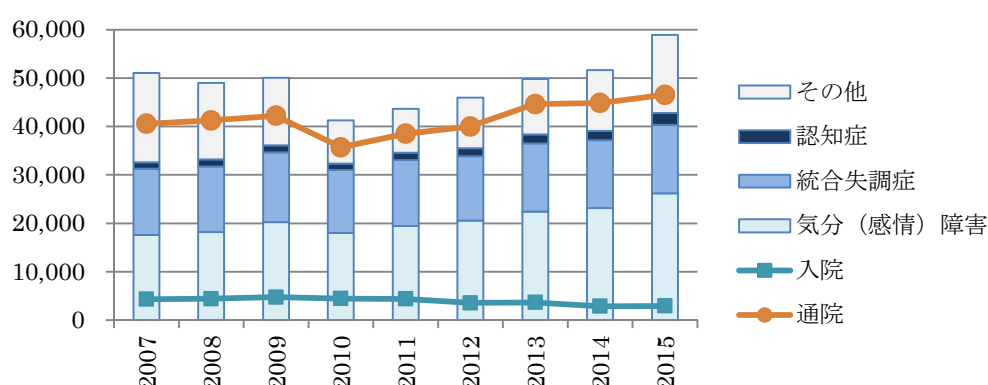
単位：千人

傷病分類	平成17年	平成20年	平成23年	平成26年
V 精神及び行動の障害	132	197	145	136
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	41	58	37	33
気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	45	77	56	52
血管性及び詳細不明の認知症	14	13	9	5
VI 神経系の疾患				
アルツハイマー病	16	21	23	27

（厚生労働省「患者調査」）

- 札幌市の精神障害者把握数は増加傾向を示しており、平成27年（2015年）の総数は58,910人で、その内訳は、気分（感情）障害が26,194人、統合失調症が14,170人、認知症が2,423人となっている。
- 札幌市の精神障害者受療状況は、入院は減少傾向を示しており、平成27年（2015年）の人数は2,956人、通院は増加傾向を示しており、平成27年（2015年）の人数は46,552人となっている。

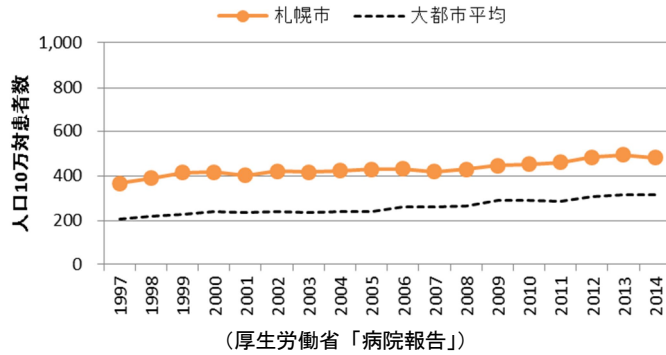
### 精神障害者把握数・受療状況の推移



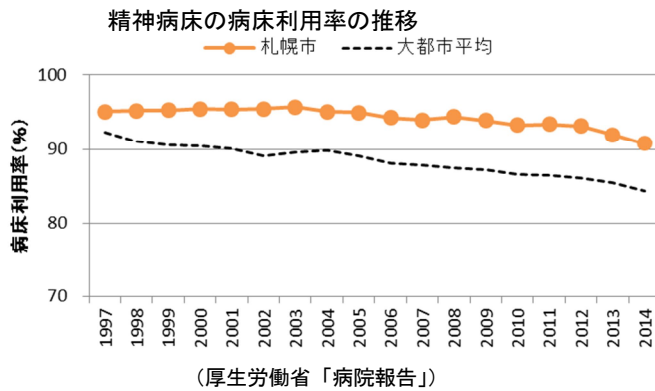
（「札幌市衛生年報」から作成）

- 精神病床の人口10万人当たりの新入院患者数は増加傾向を示しており、平成26年（2014年）の大都市平均では314.5人、札幌市では481.8人となっている。

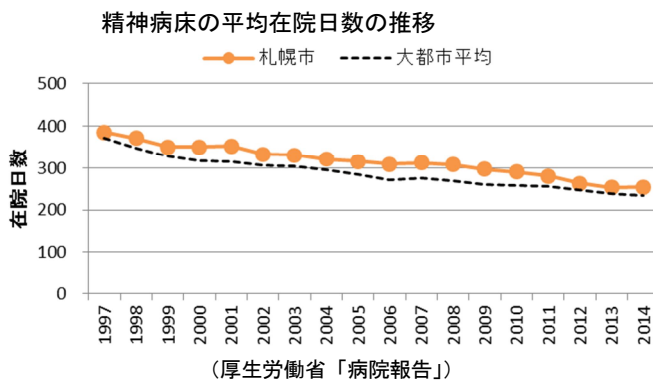
### 人口 10 万人当たりの精神病床の新入院患者数の推移



○精神病床の病床利用率は近年減少傾向にあり、平成 26 年（2014 年）の大都市平均では 84.3%、札幌市では 90.8%となっている。



○精神病床の平均在院日数は徐々に減少し、平成 26 年(2014 年)の大都市平均では 233.2 日、札幌市では 254.2 日となっている。



### 【医療提供体制】

#### (1) 精神科医療体制

○札幌市内の精神科を標ぼうする病院は 50 か所、診療所は 96 か所となっている。

○札幌市内の精神病床を有する病院は 37 か所、精神病床数は 7, 149 床となっている。

#### (2) 精神科救急医療体制

ア 初期救急医療

休日における外来診療を行う。

体制	対応日時	備考
休日救急当番制度	休日（9時～17時）	

イ 二次救急医療

夜間・休日等の診療時間外に、緊急な精神科医療を必要とする患者への診療を行う。

体制	対応日時	備考
病院群輪番制	休日・夜間	道央（札幌二次医療圏・後志二次医療圏）圏域で体制構築

ウ 精神救急情報センター

夜間・休日等の診療時間外に、緊急な医療を必要とする精神障がい者等の搬送先となる医療機関との連絡調整を行う。

体制	対応日時	対応地域
精神科救急情報センター	平日（17時～翌日9時） 土曜休日（24時間）	石狩、後志振興局管内

(3) 認知症医療体制

ア 鑑別診断実施施設

○札幌市内の認知症の鑑別診断を実施することができる医療機関であって、北海道が定める要件を満たす施設は15か所となっている。

医療機関名	所在地
札幌医科大学附属病院	中央区
医療法人社団慶愛会札幌花園病院	
いしかわ心療・神経クリニック	
ストレスケアすすきのクリニック	
北海道大学病院	北区
社会医療法人母恋天使病院	東区
医療法人啓生会病院	
医療社団法人大藏会札幌佐藤病院	
医療法人重仁会大谷地病院	厚別区
医療法人社団五風会さっぽろ香雪病院	清田区
医療法人健昇会クラスクリニック	
特定医療法人さっぽろ悠心の郷ときわ病院	南区
独立行政法人国立病院機構北海道医療センター	西区
医療法人耕仁会札幌太田病院	
医療法人澤山会手稲病院	手稲区

(北海道医療計画)

イ 専門医

○札幌市内の鑑別診断実施施設以外の医療機関で「日本老年精神神経医学会専門医」又は「日本認知症学会専門医」が専任配置されている施設は2か所となっている。

医療機関名	所在地
札幌宮の沢脳神経外科病院	西区
医療法人社団静和会静和記念病院	

(北海道医療計画)

ウ 認知症治療病棟を有する医療機関

○札幌市内の認知症の専門病棟を有する医療機関であって、認知症治療専門病棟入院料の届出医療機関は13か所となっている。

医療機関名	所在地
社会福祉法人札幌慈啓会慈啓会病院	中央区
医療法人社団荒木病院	北区
医療法人社団大藏会札幌佐藤病院	東区
社会医療法人共栄会札幌トロイカ病院	白石区
医療法人社団幸仁会札幌ロイヤル病院	
医療法人重仁会大谷地病院	厚別区
医療法人社団高台病院	豊平区
医療法人社団五風会さっぽろ香雪病院	清田区
特定医療法人さっぽろ悠心の郷ときわ病院	南区
医療法人札幌西の峰病院	西区
医療法人社団明日佳桜台明日佳病院	手稲区
医療法人勉仁会中垣病院	
医療法人澤山会手稲病院	

(北海道医療計画)

エ 重度認知症デイ・ケア実施施設

○札幌市内の重度認知症デイ・ケアを実施している医療機関であって、重度認知症患者デイ・ケア料の届出医療機関は8か所となっている。

医療機関名	所在地
医療法人社団荒木病院	北区
医療法人研成会 札幌鈴木病院	
医療法人社団大藏会札幌佐藤病院	東区
医療法人社団北夕会メンタルケア札幌	
医療法人社団同仁会長野病院	白石区
社会医療法人共栄会札幌トロイカ病院	
特定医療法人さっぽろ悠心の郷 ときわ病院	南区
医療法人社団五風会さっぽろ香雪病院	清田区

(北海道医療計画)

## オ 認知症サポート医

○認知症の方の診療に習熟し、かかりつけ医等への助言その他の支援を行い、専門医療機関や地域包括支援センター等との連携の推進役となる認知症サポート医を養成しており、札幌市では平成28年3月31日現在26人を登録している。

### 【課題】

- ①精神科医療機関、その他の医療機関、地域援助事業者、行政などとの重層的な連携による支援体制の構築が必要
- ②多様な精神疾患等ごとに病院、診療所、訪問看護ステーション等の機能分化・連携を推進することが必要。

### 【今後の施策】

対応課題	今後の施策	備考
①	国から示されている精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムへの対応	
②	多様な精神疾患等に対応可能な医療連携体制の構築	